

記載箇所		前回の主な意見	発言	変更
全体		文章は、一般市民が読んで理解できるように。カタカナ語の多用は避ける。	石塚	注意して記述を見直し。
はじめに		「東の小田原、西の山口」氏康の時代に小田原の文化が最も発展したことを記載してほしい。	大森	3(2)で記述。
第1章	タイトル	より端的に内容を表すものにできないか。	桧森	「文化振興ビジョンとは何か」に変更。
	1	「異文化」という言葉の捉え方が難しい。既に和文化が異文化になっている。	杉崎	記述を補足。
	1	和の文化が小田原の特徴だというようなことが書かれても良いと思う。	鬼木	第3章1(2)、2(3)アで言及。
	2	(2) ア 経済面での重要性としては、波及効果のほうが大きい	桧森	「誘引される消費」「文化活動は、経済循環のためのエンジン」など追加。
	2	(2) ア 「経済活動」の部分にある「文化による差別化を通じて地域経済の差別化を図る」だけでは、表現が弱い。	桧森	「競争力」「優位性」などに言い換え。
	2	(2) イ 具体的な例を挙げて説明する必要がある。	石塚	短く説明することが困難。
	2	(2) 「まちづくり」を「経済活動」より前に。	桧森	「まちづくり」を「特色ある地域づくり」として先に。
	2	(2) 付加価値についての記載が「都市ブランド」と重複するので、この2項目は一つにまとめてしまっても良いと思う。	桧森	3と合わせて整理。
	2	(2) 「創造都市」は言い換えた方がいい。	間瀬	文中から削除。
	2	(2) 「差別化」という言葉が気になる。	岩城	独自性、優位性、競争力などに変更。
	2	(3) 「(3) 忘れてはならないこと」は根本思想のようなもの。	鬼木	「文化振興の根底にあるもの」に。
	2	(3) 文化芸術振興基本法の理念との整合性を図る必要がある。	市	「ア自主性を尊重」を追加
	3	キャッチフレーズ「人に伝えたい感動」	大森	キャッチフレーズはなし。2(1)イ「人とのつながり」で言及。
	3	「文化はあなたを何々する」「文化はあなたに何々をもたらす」はいかがか	桧森	3の副題「文化は人とまちを幸せにする」に変更。
	3	「交わす言葉があったかいね、小田原」はどうか	岩城	コミュニティのことだけに取られる可能性がある。
	3	「幸福」という言葉をどこかに入れられないか。	杉崎	3で言及。
	全体		コンパクトにまとめて欲しい	石塚

記載箇所		前回の主な意見	発言	変更
第二章	全体	あまりに短くて、バランス的にどうなのか。	桧森	2の箇条書き項目を文章化。
	2	後継者が減るバックグラウンドには地場産業そのものの衰退もある。事実をきちんと認識することが必要。	石塚	留意して記述。
	2	現状の問題点なのか、その解決の方向なのか、整理する	石塚	見出しは「問題点」ではなく「課題」で統一。
	2	カルテのようにどこが悪いのかを明確にして治療法を考えるべき。	大森	個々の課題に、対処の方向性までを記述。
	2	危機感を持って、取組の優先順位を示す。危機感がなければいけない。	大森	第一章に「はじめに」を追加し、危機感を持って臨む決意を記述。 優先順位は困難。(項を◆で表示)
	2	ビジョンの実現により課題が自ずと解消していくことを、どこかに明記する	桧森	2の本文に記述。
	2	悪い面を直すだけでなく、良い面をさらに伸ばしていかなければならないという課題もある。	桧森	「郷土愛を育む環境の醸成」で記述。
	2	文化は免疫療法のようなもので、高めることで、様々な問題に対処できるようになる。	桧森	第一章に「はじめに」を追加し、文化が活力を高めることを記述。
	2	文化に対する投資が十分でなかった。	桧森	「行政の文化に対する取り組み」を追加。
	2	市役所内部の横の連携を準備する。	間瀬	
第三章	1	より芸術の面に踏み込んだ記載とし、小田原がどのような文化芸術を目指したいかを示しても良いのでは	鬼木	生活文化に比べ芸術が薄かったので、記述でやや強調。2(1)の見出し変更。
	1	表題を「私達は～します」という表現にしてはどうか。	鬼木	各項の本文の書き出しを変更。
	1	「多様な文化が調和する」では、小さくまとまってしまう感じがする。	市	「多様な文化を個性とする」に変更。
	2	「想定する事業例」ではなく「実践している事業例」である。	間瀬	「実践していく事業例」に変更。
	2	(1) イ 事業例に、既存文化施設の再整備又は再構築を入れる。	桧森	「既存文化施設の再整備」で記載。「情報や設備」を「情報や施設、設備」に変更。
	2	(4) ア プロフェッショナルをもっとフィーチャーしてみてもは。	桧森	本文の記載を強調。事業例修正。
	2	(2) イ 「文化のネットワークづくり」は、オフライン、オンライン両方で考えていけると良い。	桧森	ソーシャルメディアについて、本文中に記載。
	2	(4) ア 「文化をプロデュース」という意味が分からない。(プロデュース=制作?)	市	「文化を演出する」に変更。
	2	(4) ア 情報メディアのデザイン性が重要である。	市	追加して記載。
	2	刺激を受けるようなことが書いてあっても良い。優先順位を出しても良いのではないか。	鬼木	特出しは難しいが、「レジデンス」など新しい動きを事業例に入れておく。

記載箇所			前回の主な意見	発言	変更
第三章	2		和の文化が小田原の特徴だということ なことが書かれても良いと思う。	鬼木	2(1)アの事業例及び地域資産で言 及。
	2		インターネットに関して、どこかで触れ ておく必要はある。	石塚	2(2)イ、(4)ア、イ事業例などで言及。
	2		日本の最先端で活躍する人呼んで フォーラムを開催してはどうか。	石塚	2(4)イ事業例に追加。
	2		「責任と権限を持つ推進のための組織 が求められます」も、主語をつけて具 体的なものとしては。	岩城	4章へつなげるための文として置く。 (「責任と権限」は強すぎるので削除。)
第4章				今回は「委員からの提言」として、今後 検討を深めていく。	

※斜体は反映が難しかったもの